



## 導入事例：ハンス・ジマーの世界 –

### An Immersive Symphony. The Theatre Experience

Spectera のパイオニアであるヴェルナー・シュミードルと  
ソーベン・シュトロハイムによる、広帯域ワイヤレスシステムのテスト

2025 年 5 月 13 日

ゼンハイザージャパン株式会社

(本資料は、ドイツ 2025 年 2 月 26 日に発表されたプレスリリースの抄訳です)



「ハンス・ジマーの世界 – An Immersive Symphony. The Theatre Experience」は、フィルム・コンポーザーの巨匠ハンス・ジマーの手がけた映画音楽のライブコンサートであり、オーバーハウゼンのメトロノームシアターを訪れた観客を感動的な音楽の旅へと導きました。本公演は Semmel Concerts が制作を担当、息を呑むような照明と音響とステージのテクノロジーを Satis & Fy が担当し、2025 年 1 月 23 日から 3 月 2 日まで開催され、15 公演でチケットが完売となり、2 万 2,000 人以上のファンを魅了しました。ハンス・ジマー自身は巨大な 3D 映像の姿で登場し観客に語りかけ、舞台裏では、モニターエンジニアのヴェルナー・シュミードル (Werner Schmidl) と RF マネージャーのソーベン・シュトロハイム (Thorben Ströhlein) もハンス・ジマーの登場を歓迎していました。ヴェルナーとハンスは Spectera Pioneer プログラムの一環として、ゼンハイザーの Spectera を使い、数名のミュージシャンに、インイヤードとライン/マイクで信号を送信しました。



開演前、バックステージでのヴェルナー・シュミードル（左）  
とホルガー・シュワーク（右）

Pioneer プログラムとの連携を持ちかけたのは、FOH エンジニアであったホルガー・シュワーク (Holger Schwark) でした。シュワークは、コリン・ピンク (Colin Pink) およびクリスチャン・スタインハウザー (Christian Steinhäuser) とともに、ハンス・ジマーの音楽を集めた、本公演のサウンドデザイナーも務めていました。

このような関係から、1月には、ゼンハイザーのペル・ウィッテ (Per Witte) が Spectera Base Station と 10 を超える双方向 1.4 GHz ボディパックをオーバーハウゼンでのリハーサルに持ち込むようになり、技術アプリケーションエンジニアであるゲルハルト・スパイラ (Gerhard Spyra) が提供したシステムに関する技術的な説明も行いました。モニターエンジニアのシュトロハイムは、次のように話しています。

「おそらく僕たちは大変な思いをすることになるだろう、と当然思いました。準備期間がまったくありませんでしたからね。しかし、実際のところは大きな問題ではありませんでした。というのも、比較的システムの設計が簡単にできたからです」



モニターエンジニアのソーベン・シュトロハイム（左）と  
サウンドデザイナーのホルガー・シュワーク（右）



### テクノロジーにとっても、RF マネージャーにとっても、特別な機会

この度の Spectera テストで注目すべき点の1つは、今回がヴェルナー・シュミードルにとって、RF マネージャーとしての初仕事だったということです。「普段、私は FOH システムが担当で、たとえばピーター・マッフアイ (Peter Maffay) のもとで、長年この仕事をしました。もちろん、これまでもワイヤレスシステムの仕事をするのはたまにありました。しかし、今回は私にとって、RF マネージャーとしての最初の大仕事です。会場では、Spectera アンテナを使って RF 環境をスキャンし、周波数に問題がないことがわかりました。なにもかもが、簡単にできました！」

「ボディパックのおかげもあるでしょうね。とても使いやすいのです」とシュトロハイムが付け加えました。「バッテリーを装填したら、すぐに仕事ができるのです！」4本の DAD アンテナが LED カーテンに設置された結果、ステージに没入感のある空間が生まれ、ミュージシャンと観客の両方が光と動画の幻想的な世界へと誘われました。



RF マネージャーのヴェルナー・シュミードル

### 双方向が正解かもしれない

当初、シュミードルとシュトロハイムは、Spectera をインイヤーシステムとしてのみ使用するつもりでした。「しかし、その後に、双方向機能を使ってもいいのでは?と思うようになりました。結果的に、それで最大の効果を得られたのです」とシュトロハイムが説明しています。

そのため、シュトロハイムはバイオリニストのアレクサンドラ・チルス (Alexandra Tirsu)、ベースプレイヤーのマルテ・ウィンタ (Malte Winter)、ギタリストのジュリアン・カスタニエ (Julien Castanié) および木管楽器プレイヤーのサウリュス・ペトレ



イクス (Saulius Petreikis) に Spectera ベルトパックを装着させ、インイヤーモニター (IEM) とライン/信号の両方の機能を使えるようにしました。また、シュトロハイムとともに、ボーカリストのカーラ・シャムーン (Carla Chamoun) とフューチャーラブ・シバンダ (Futurelove Sibanda)、パーカッショニストのマレイケ・エイドゥミュラー (Mareike Eidemüller) とベンジャミン・ロイシュナー (Benjamin Leuschner)、ドラムのアンドレアス・クルト (Andreas Kurth)、キーボードプレイヤー、アコーディオン奏者、ならびに制作のミュージカルディレクターを務めたクリストファー・ボーネッカー (Christoph Bönecker) は、IEM (インイヤーモニター) の機能のみ使用しました。全体として、シュトロハイムは合計 22 のモニターミックスを処理しました。



クリストファー・ボーネッカー (左) のワイヤレス接続を手伝う  
ヴェルナー・シュミードル (右)

シュミードルは、Spectera WebUI を使ってパックの設定を行いました。

「これにはとても助かりました。iPad を使って作業ができますからね。それだけじゃなく、コンピューターのアップデート後に不具合が発生するリスクも解消できます」

### 「納得」の瞬間

双方向 Spectera ベルトパックのインイヤーでの伝送機能に、これまでアナログのインイヤーシステムだけを使ってきた人々は即座に感銘を受けました。ソーベン・シュトロハイムは次のように述べています。

「ノイズがまったくなく、すべてのサウンドが驚くくらいきれいで、ヘッドフォンでの音の広がりも驚異的です。マイクロフォンの信号もとても良好です。すべての音が自然に響いています」



Spectera ベルパックと楽器用ケーブル

システムの特徴をさらに詳しく説明してほしいと言われたシュミードルは、こう答えました。

「ソフトウェアでパックのインイヤーでの音量を変更できるところが、とくに気に入っています。音量が大きすぎると思ったことが何回もあり、それを変更することができました。別の周波数を追加すべきかどうかで悩む必要がなくなったのも、素晴らしいと思います」



バイオリニスト、アレクサンドラ・チルスの中空パフォーマンス

### エコシステムの発展

彼らは、ゼンハイザーに対し、エンドレスのロータリー音量制御、WebUI およびそのキュー機能への要望など、Spectera エコシステムのさらなる発展につながる有益なフィードバックを寄せています。ウィットは、次のように話しています。

「このようなフィードバックは私たちにとってきわめて重要で、これによって、システムをさらに補完できるようになり、ファームウェアのアップデートを通じて、フィードバックでの指摘が活かされています。これこそがまさに Pioneer Program 設立の目的で



あり、私たちは、正直なフィードバックを送ってくれるチームにとっても感謝しています」

テスト段階から、Spectera 制作チームは完全なバックアップシステムを用意していましたが、実際にはそれに頼ることなく、チームは公演全体を通じて Spectera を使用し続けました。シュトロハイムは、こう話しています。

「アナログシステムを使用していたら、たくさんのものの入れ替えが必要だったでしょうが、Spectera によって、制作ははるかに簡単になりました。ノイズがないかチェックするような状況がよくありますが、ノイズはまったく発生していません。準備が一旦整えば、あらゆることが適切に機能しているのがわかります。このように、仕事がとてもやりやすくなっています」

シュトロハイムはまた、次のように述べています。

「米国では、公演の期間を通じて一定の周波数帯を維持するのは、RF マネージャーにとって困難な仕事です。Spectera を用いることで、よりリラックスして仕事ができるように思います。このシステムは、多くのアーティストがこれまで慣れ親しんできたものとは違う仕組みで機能しているため、アーティストへの対応も必要になりますが、システムのコンパクトさは他の追随を許さないものとなっています。もちろん、これはパフォーマーにとっても素晴らしいことで、現在は 1 つのベルトパックがあればよいのです」



Spectera：他の追随を許さないコンパクトさ

## オーバーハウゼンでのワールドプレミア

「ハンス・ジマーの世界 – An Immersive Symphony」を通じて、Semmel Concerts はまたもたくさんの人の視覚と聴覚を楽しませ、オーバーハウゼンの地から、世界のス



テージを席卷しようとしています。ハンス・ジマーの独創的な映画音楽と舞台芸術との融合、またその親しみやすさとインパクトが、オーバーハウゼンの観客に深く、長い感動を与えました。また、優れた技能を持ち、演奏することの楽しさを教えてくれた、才能豊かなミュージシャンたちによって、今回の公演が人々の記憶に残るものとなりました。

本公演の体験に関する記事と意見は、Simmel Concerts TV  
(<https://www.youtube.com/watch?v=Plz6UuZZlxU>) よりご覧いただけます。

### **ゼンハイザーブランドについて**

オーディオと共に生きるゼンハイザー。世の中を変えるオーディオ製品を作りだすことに情熱を捧げ、オーディオの未来と素晴らしいサウンド体験を築く。これこそが 75 年以上もの歳月、変わらずに掲げてきたゼンハイザーの意義です。Sennheiser electronic SE & Co. KG はマイク、会議システム、ストリーミング技術、モニタリングシステムなどの様々なプロオーディオ事業を展開しながら、ヘッドホン・イヤホン、サウンドバー、スピーチ-エンハンスヒアラブルデバイスなどの一般消費者向け事業を Sonova Holding AG へのブランドライセンス事業で展開しています。

[www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com)

[www.sennheiser-hearing.com](http://www.sennheiser-hearing.com)

### **<本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先>**

ゼンハイザー・ジャパン PR 事務局（プレインズ・カンパニー内）

中村・西田・本郷

TEL : 03-4580-9156 / MAIL : sennheiser@pjbc.co.jp